

大高 翔

希望

審議会廃止についての考えはあるか

質 個人情報保護のガイドラインでは審議会の廃止までは求めないが、「廃止してはいけない」と明示はしていない。行財政改革の一環として廃止するということも考えられるが、そうした考えはあるか。

答 市では、法の運用等について、専門的な知見を伺うことが必要となる場合も想定されることから、引き続き必要な機関と考えている。また、開示決定等に係る審査請求があったときは、地方公共団体が設置する審査会に諮問しなければならぬとされているため、市では審議会と審査会の機能を合わせた諮問機関を設置する方向で検討を進めている。

死者の個人情報の取扱いを設定する考えは

質 改正個人情報法には「生存する」がある。しかし、情報公開制度運用上は個人に死者も含む場合がある。個人情報保護委員会の回答では取扱いに関する条例を禁じてはいない。何らかの形で設定する考えは。

答 亡くなった方の尊厳を守るとともに、亡くなった方に対する御遺族の思い等を尊重していくためにも、死者に関する情報の取扱いについての条例を定めたいと考えているが、国から制度概要等が示されていない中で、個人情報保護法や情報公開制度との整合性を図っていく必要もあるため、法施行後に先進事例等を参考に慎重に対応していく。

その他の質問事項

- 行政機関等匿名加工情報の開示請求対応
- 議会が市の審査会に諮問する状況の把握
- 議会が市の審査会に諮問する状況の改善

安岡 明雄

希望

市職員の定員適正化計画をどう考えるか

質 人口減少時代では職員でなければできない業務に特化し、サービスの質の維持が重要。業務の効率化、業務の洗い出しを織り込んだ業務量と、職員数とのバランスがとれた計画にすべきではないか。

答 新たな計画策定に当たり、業務量に合った職員数を確保できるよう目標職員数を設定したいと考えている。一方で、限られた行政資源や人員を効率的に活用し、持続可能な行財政運営基盤を確立することは不可欠と考えており、現在策定作業を進めている第3次能代市行財政改革大綱等と整合性を図りながら、定員の適正化を進めていく。

ICT学習のさらなる推進

質 新型コロナに伴う学級閉鎖など連日の報道がある。いついかなる状況でも学べるオンライン学習を可能にするため、タブレット端末の家庭学習利用など、ICT活用による学びをさらに進める考えは。

答 ICTを活用して魅力ある授業づくりに努めており、オンライン学習は、不登校児童生徒の学びやコロナによる学級閉鎖等の際にも、学びを止めない有効な手立ての一つと捉えている。児童生徒は常時タブレットを活用できるようになったことから、授業の配信やオンライン学習、家庭への持ち帰りも着実に進んできている。

その他の質問事項

- ふるさと住民票創設に向けた取組
- 総合計画と予算編成の関係性
- 役職定年者のキャリアが生きる人員配置

意見書のホームページに掲載について

意見書とは、自らの自治体の公益に関する事柄において、当該自治体だけでは対処できない場合など、議会が国、県など関係行政庁に対して市議会の意見として提出する文書のことです。能代市議会では議員間の申し合わせにより、主に、意見書提出の請願や陳情について、全会一致で採択となった結果を受けて、議員が議会議案として意見書の提出を提案し、可決後、関係行政庁へ提出しています。

能代市議会が提出した意見書を、令和4年度分から市ホームページに掲載しました。



意見書の提出について

議会議事報告会開催中止のお知らせ

能代市議会では、市民の皆様に対して市政に関する情報を積極的に提供し、皆様の意見を把握し、議会活動に反映させることを目的として、能代市議会報告会を毎年開催しております。

令和4年度は11月に開催を予定してありましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、感染拡大防止の観点から今年度の開催を中止しました。



令和4年度議会議事報告会資料